

6月会議定例会での一般質問から

② B型肝炎ワクチンの公費対象外年齢のお子さんの助成について質問!! (前ページからの続き)

問

10月に受けられなかったお子さんは3回目
が1歳を過ぎるが対象外になるのか。

答

1ヶ月くらいは対象になるが、それ以上は定期
の対象から外れるので自己負担となる。



©KOMEITO

問

生後間もないお子さんはワクチン接種
スケジュールが過密であり、大事な
お子さんなので任意接種も受ける
可能性は高い、B型肝炎ワクチンの
対象外だと12,000円という高額にな
る。血液、体液を介しての水平感染
は危険であるが、3歳までに接種す
れば、感染を防げるというデータも
ある。そこで、定期接種から外れた
特に1歳から3歳までの任意接種を町
で助成できないか。

答

小児期における年齢別感染リスクや
長期的な視点でのB型肝炎ワクチン
の費用対効果が明らかでなく、今改
正案には盛り込まれていない。対象
外年齢のお子さんはすでに任意接種
している方もいるので、公平を期す
ためにも助成は考えていない。ワク
チンの製造元が熊本地震で被害を受
けたようなので、今後ワクチン提供
が懸念される。



©KOMEITO

平成28年度 法律相談 (上田会場)



* 公明新聞の御購読をお願いします。(日刊1ヶ月1,887円、日曜版1ヶ月293円)

川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで

<日 程> 9月17日(土)、11月12日(土)

<時 間> 午後13:00~15:30

<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター

<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで

No.8 2016年 夏

さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135



ごあいさつ

暑い日が続きますが、みなさまお変わりありませんでしょうか。
おかげさまで、私も議会に委員会に、視察・研修にと忙しい
日々を過ごさせて頂いております。

さて、9月24日、25日はG7 交通大臣会合が我が軽井沢町で
いよいよ行われます。公明党の石井国土交通大臣が中心となり
開催される大きなイベントでありG7の中で最後の会合になります。
大成功で無事終わりますよう祈りたいと思います。

二期目の毎日は本当に早く感じます。

これからも、残された時間を大事に真剣に頑張ってまいりますので、
みなさま、どうぞよろしくお願い致します。



イラスト：斉藤暁雄

活動レポート



飯綱町へ議会改革の視察



軽井沢ハーフマラソン大会
給水役員として



ビッコロの会の
皆さんとトイレ掃除



町村議会改革シンポジウム in 長野



街頭遊説挑戦中!



公明党長野県本部夏季研修会

6月会議定例会での一般質問から

① 子どもの医療費窓口無料化（現物給付方式）について質問！！

長野県の自治体では、子どもの医療費については、自動給付方式を採用しており、医療機関窓口で受給者証を提示すると、一旦、窓口で支払い、2から3ヶ月後に口座に振り込まれている。その際、医療機関ごと、1ヶ月ごとにレセプト代500円が差し引かれている。（軽井沢町は500円のところ300円に

据え置かれている。）
町が窓口での助成をすると国からの交付金が減額されるペナルティが科せられることから、現物給付方式をとっていない経緯がある。
昨年6月会議、全会一致で国に是正の意見書を提出している。

問 子どもの医療費、窓口での現物給付方式を採用できないか。



©KOMEITO

答 軽井沢町では平成28年4月より18歳までの医療費自己負担分の助成を始めた。平成27年度の給付件数は、延べ1万812件、3,547万円の助成をした。平成15年より県内どここの医療機関を受診しても申請手続きを省き、申告漏れのないよう自動給付方式が県内市町村で取られている。
軽井沢町のみ現物給付方式を採用すると医療機関システム改修や窓口対応等事務手続きが煩雑化される。医師会等の理解を得る上での全県的な対応が整わないと困難である。

問 母子世帯、多子世帯は、窓口での一時払いだけでも大変であり、重篤にならないと医療機関に行かないという実態があるが調査把握はしているか。

答 把握はしていない。相談を保健福祉課で行っているので窓口に来てほしい。



©KOMEITO

問 国でのペナルティ廃止が決まれば、軽井沢町は真っ先に手を上げるということか。

答 県の制度が土台なので、県が現物給付方式をとれば町も従う。



イラスト：斉藤暁雄

問 町の大型事業も終了してきているので、子育てに力を入れる観点から、レセプト代300円を町負担にできないか。

答 27年度の試算では1,950万円だが、無料化については現在考えていない。



©KOMEITO

② B型肝炎ワクチンの公費対象外年齢のお子さんの助成について質問！！

厚生労働省では、平成28年4月以降に生まれたお子さんに対し、本年度10月よりB型肝炎ワクチンを公費負担で定期接種を始めると決定した。このB型肝炎、大変怖い病気

で、血液や精液、尿、唾液、涙、鼻水、汗などからの体液を介して感染することで発症し、B型肝炎から肝硬変、肝臓がんへと推移する。

問 予防接種上の分類と、接種スケジュール、対象年齢は。



答 人から人へ感染するA類疾患。予防接種対象者は、平成28年4月以降に生まれたお子さんで、生後1歳に至るまでとし、1回目を生後2ヶ月（150人）、2回目を3ヶ月（135人）、3回目を7ヶ月～8ヶ月（75人）に接種。町では、200万円の補正予算を組んだが、閣議決定が未だにされていない。

② B型肝炎ワクチンの公費対象外年齢のお子さんの助成について質問!! (前ページからの続き)

問 10月に受けられなかったお子さんは3回目
が1歳を過ぎるが対象外になるのか。

答 1ヶ月くらいは対象になるが、それ以上は定期の対象から外れるので自己負担となる。



©KOMEITO

問 生後間もないお子さんはワクチン接種スケジュールが過密であり、大事なお子さんなので任意接種も受ける可能性は高い、B型肝炎ワクチンの対象外だと12,000円という高額になる。血液、体液を介しての水平感染は危険であるが、3歳までに接種すれば、感染を防げるというデータもある。そこで、定期接種から外れた特に1歳から3歳までの任意接種を町で助成できないか。

答 小児期における年齢別感染リスクや長期的な視点でのB型肝炎ワクチンの費用対効果が明らかでなく、今改正案には盛り込まれていない。対象外年齢のお子さんはすでに任意接種している方もいるので、公平を期するためにも助成は考えていない。ワクチンの製造元が熊本地震で被害を受けたようなので、今後ワクチン提供が懸念される。



©KOMEITO

平成28年度 法律相談
(上田会場)



<日 程> 9月17日(土)、11月12日(土)
<時 間> 午後13:00~15:30
<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター
<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで

* 公明新聞の御購読をお願いします。(日刊1ヶ月1,887円、日曜版1ヶ月293円)

川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで



さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

ごあいさつ

暑い日が続きますが、みなさまお変わりありませんでしょうか。おかげさまで、私も議会に委員会に、視察・研修にと忙しい日々を過ごさせて頂いております。

さて、9月24日、25日はG7交通大臣会合が我が軽井沢町でいよいよ行われます。公明党の石井国土交通大臣が中心となり開催される大きなイベントでありG7の中で最後の会合になります。大成功で無事終わりますよう祈りたいと思います。

二期目の毎日は本当に早く感じます。

これからも、残された時間を大事に真剣に頑張ってまいりますので、みなさま、どうぞよろしくお願い致します。



イラスト：斉藤暁雄

活動レポート



飯綱町へ議会改革の視察



軽井沢ハーフマラソン大会
給水役員として



ピッコロの会の
皆さんとトイレ掃除



町村議会改革シンポジウム in 長野



街頭遊説挑戦中!



公明党長野県本部夏季研修会

6月会議定例会での一般質問から

① 子どもの医療費窓口無料化（現物給付方式）について質問！！

長野県の自治体では、子どもの医療費については、自動給付方式を採用しており、医療機関窓口で受給者証を提示すると、一旦、窓口で支払い、2から3ヶ月後に口座に振り込まれている。その際、医療機関ごと、1ヶ月ごとにレセプト代500円が差し引かれている。（軽井沢町は500円のところ300円に

据え置かれている。）

町が窓口での助成をすると国からの交付金が減額されるペナルティが科せられることから、現物給付方式をとっていない経緯がある。

昨年6月会議、全会一致で国に是正の意見書を提出している。

問 子どもの医療費、窓口での現物給付方式を採用できないか。



©KOMEITO

答

軽井沢町では平成28年4月より18歳までの医療費自己負担分の助成を始めた。平成27年度の給付件数は、延べ1万812件、3,547万円の助成をした。平成15年より県内どこの医療機関を受診しても申請手続きを省き、申告漏れのないよう自動給付方式が県内市町村で取られている。

軽井沢町のみ現物給付方式を採用すると医療機関システム改修や窓口対応等事務手続きが煩雑化される。医師会等の理解を得る上での全県的な対応が整わないと困難である。

問 母子世帯、多子世帯は、窓口での一時払いだけでも大変であり、重篤にならないと医療機関に行かないという実態があるが調査把握はしているか。

答 把握はしていない。相談を保健福祉課で行っているので窓口に来てほしい。



©KOMEITO

問

国でのペナルティ廃止が決まれば、軽井沢町は真っ先に手を上げるということか。

答

県の制度が土台なので、県が現物給付方式をとれば町も従う。



イラスト：斉藤暁雄

問

町の大型事業も終了してきているので、子育てに力を入れる観点から、レセプト代300円を町負担にできないか。

答

27年度の試算では1,950万円だが、無料化については現在考えていない。



©KOMEITO

② B型肝炎ワクチンの公費対象外年齢のお子さんの助成について質問！！

厚生労働省では、平成28年4月以降に生まれたお子さんに対し、本年度10月よりB型肝炎ワクチンを公費負担で定期接種を始めると決定した。このB型肝炎、大変怖い病気

で、血液や精液、尿、唾液、涙、鼻水、汗などからの体液を介して感染することで発症し、B型肝炎から肝硬変、肝臓がんへと推移する。

問

予防接種上の分類と、接種スケジュール、対象年齢は。

答

人から人へ感染するA類疾患。予防接種対象者は、平成28年4月以降に生まれたお子さんで、生後1歳に至るまでとし、1回目を生後2ヶ月（150人）、2回目を3ヶ月（135人）、3回目を7ヶ月～8ヶ月（75人）に接種。町では、200万円の補正予算を組んだが、閣議決定が未だにされていない。

